

重点プロジェクト2	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	R1目標		R1実績		達成度	備考	基本方針・個別目標	達成度の説明
18	○公共施設に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムなどを積極的に導入します。	建築施設課	太陽光発電設備を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100%		-	%	-	年度を通して太陽光発電設備を対象とした施設はありません。	基本方針4 地球温暖化対策	
19	○公共施設にLED照明を積極的に導入します。	建築施設課	LED照明を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100%		100%	%	A	年度を通して、工事施行依頼書による依頼件数は、「府中市立府中第二小学校増築及び改修に伴う電気設備工事」ほか19件あり、LED照明を1379台設置した。 実績率は、依頼20件／実施20件＝100%	基本方針4 地球温暖化対策	
20	○カーボンオフセットなどの地域の枠を超えた取組を推進します。	環境政策課	カーボンオフセット事業を継続し、二酸化炭素吸収量の増加を図ります。	森林整備実施面積	毎年約20ha	20ha		21.01	ha	A	佐久穂町との「佐久穂町森林整備費負担金に関する協議書」に基づき、植林事業を進め、無事に長野県による「森林の里親促進事業」に係るCO <sub>2</sub> 吸収評価制度により認証を頂いた。	基本方針4 地球温暖化対策	
21	○自転車駐車場の適切な配置の推進や、自転車の共同利用に関する検討を行うとともに、歩行者の安全を守りつつ、自転車を利用しやすい環境(広い歩道等)の整備を図りながら、積極的に自転車等の利用を促進します。	地域安全対策課	放置自転車の撤去強化	達成率	毎年100%	100%		100%	%	A	自転車駐車場の管理運営を適切に行い、また、放置自転車の撤去を継続的に行うことにより、着実に自転車を利用しやすい環境整備が図られている。	基本方針4 地球温暖化対策	S:目標以上に進んでいる A:目標どおり順調に進捗している
22	○食材を多く買いすぎない、食べ残しをしない、生ごみは一絞りにして水分を取るなど、自ら実践できる方法を、ごみ広報紙「府中のごみ」などを通じてPRしていきます。	ごみ減量推進課	市民に府中市のごみの現状・ごみ減量・分別について広報、ごみ新聞等で周知する。	1人1日あたりのごみ量	令和3年度(※)1人1日あたりのごみ量595g	603.6	g	616	g	C	広報紙やテレビ広報、市内イベントでのブース出展、年2回のごみ新聞「府中のごみ」発行などを通じてごみ減量や3Rについての啓発を継続して行った。昨年度と比較すると、1人1日あたりのごみ量が増加しているため、新たな取組みを交えながら更なる啓発を行っていく。  ※第6次府中市総合計画後期基本計画及び府中市一般廃棄物処理基本計画では令和3年度の目標を595gとしているため。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量の推進	B:やや遅れが生じているが、概ね順調 C:遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい
23	○マイバッグを持参しない無関心層を取り込むため、市民団体や販売店、商店街などと連携し、単にごみ減量の観点だけでなく、デザインや機能性など様々な視点からマイバッグの持参やレジ袋の削減を呼びかけます。	ごみ減量推進課	マイバッグの持参率を上げる。	スーパー店頭で行っているマイバッグ持参率	令和4年度持参率77%	74	%	58.91	%	C	買い物時にマイバッグを持参している方の割合が高いが、前年度の同時期と比較すると大幅に持参率が低下している。目標値にも届いていないため、さらに啓発活動が必要。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量の推進	
24	○市内で食の資源循環を行うため、給食残さの一部を堆肥化し、市内農家などで活用する実験を行います。	ごみ減量推進課	家庭から排出される生ごみを堆肥化し、資源循環の流れを形成する。	生産堆肥量	H29年度の事業報告書作成をもって事業終了となる。	-	kg	-	kg	達成	H29年6月のたい肥配布及び報告書の作成をもって本事業は終了となっている。	基本方針4 ごみの適正処理の推進	
25	○ごみ減量・リサイクルを推進する販売店などの取組や成果を公表・チェックするなどの仕組みづくりを検討します。	ごみ減量推進課	ごみ減量・3R推進に取り組んでいる事業者について調査及び広報活動を行う。	広報店舗数	広報店舗数毎年5店	5	店	51	店	S	ホームページにて、食べきり協力店に登録している店舗を周知している。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量の推進	